



国民春闘共闘

第 50 号

2019 年 7 月 16 日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

19 国民春闘 進ちよく状況調査最終集計

1961 組合が要求書提出、1271 組合でスト権確立

国民春闘共闘委員会は7月9日、加盟全単組を対象とした「進ちよく状況調査」を実施し、21単産・部会、3225組合からの報告としてまとめました。

要求書提出、スト権の確立・実施状況

7月9日現在、別表の21単産・部会から、交渉単位数で3,225組合の報告が寄せられました。このうち要求書提出組合は、1,961組合で提出率は60.8%となっています(前年は、2,142組合・67.9%)。なお、要求提出率100%の単産・部会は、JMITU 通信産業本部、合同繊維、検数労連、全損保、郵政ユニオンとなっています。

ストライキ権の確立状況では、調査中の全農協労連、建設関連労連、自交総連、全労連・全国一般、特殊法人労連を除く2,280組合の55.7%にあたる1,271組合でストライキ権の確立が確認されています(1,163組合・44.6%)。なお、JMITU 通信産業本部、検数労連、全損保、郵政ユニオンが全交渉単位で確立しています。ついで、福祉保育労79.3%、建交労72.3%となっています。

スト権の確立が昨年より前進した半面、要求書提出、ストライキの実施率で昨年より後退をしています。

回答引き出し状況

要求書提出組合の75.0%にあたる1,467組合で回答を引き出しています(前年は1,579組合・73.7%)。産別ストライキを提起して3年目に入った福祉保育労では、要求書提出、回答引き出しに力を入れた結果、要求書提出数、産別統一要求への回答数が改善しているとの報告が寄せられています。また、日本医労連では、北海道勤医労が、ベアをストライキの回避基準に設定したことで、2年連続でベア回答を引き出した経験や、第2次回答指定日を県組織で設定し、多くの加盟組合で上積み回答を引き出した山形県医労連などの経験も報告されています。

回答内容・ベア相当額など

<定昇制度あり>の759組合では、24.6%にあたる187組合(前年23.3%・204組合)でベアを勝ち取っています。その一方で、75.4%・572組合(前年76.7%・672組合)が定昇確保・ベアゼロ回答に留まっています。

<定昇制度なし>の329組合では、78.7%にあたる259組合(前年98.2%・217組合)で有額回答を引き出した一方で、21.3%にあたる70組合(前年1.8%・4組合)がゼロ回答に留まっています。

ベア相当分の獲得状況では、563組合の単純平均（一組合当たり平均）で1,223円となっていて、前年の水準（1,575円）から、352円のマイナスとなっています。

ストライキの実施状況

252組合から、324回のストライキの実施報告が寄せられています（前年、289組合・370回）。JMITU 通信産業本部、日本医労連、映演労連、福祉保育労、郵政ユニオンを中心に、多くの組合からスト実施報告が寄せられています。また、検数労連の加盟する全国港湾は、今春闘で港湾産別最賃などをめぐって5回のストライキを実施してたたかいがすすめられています。

**かちとろう 大幅賃金引き上げ、8時間働いて人間らしく暮らせる社会
とめよう 安倍9条改憲、消費税増税
職場と地域からの共同のたたかいで、未来を切り拓こう**